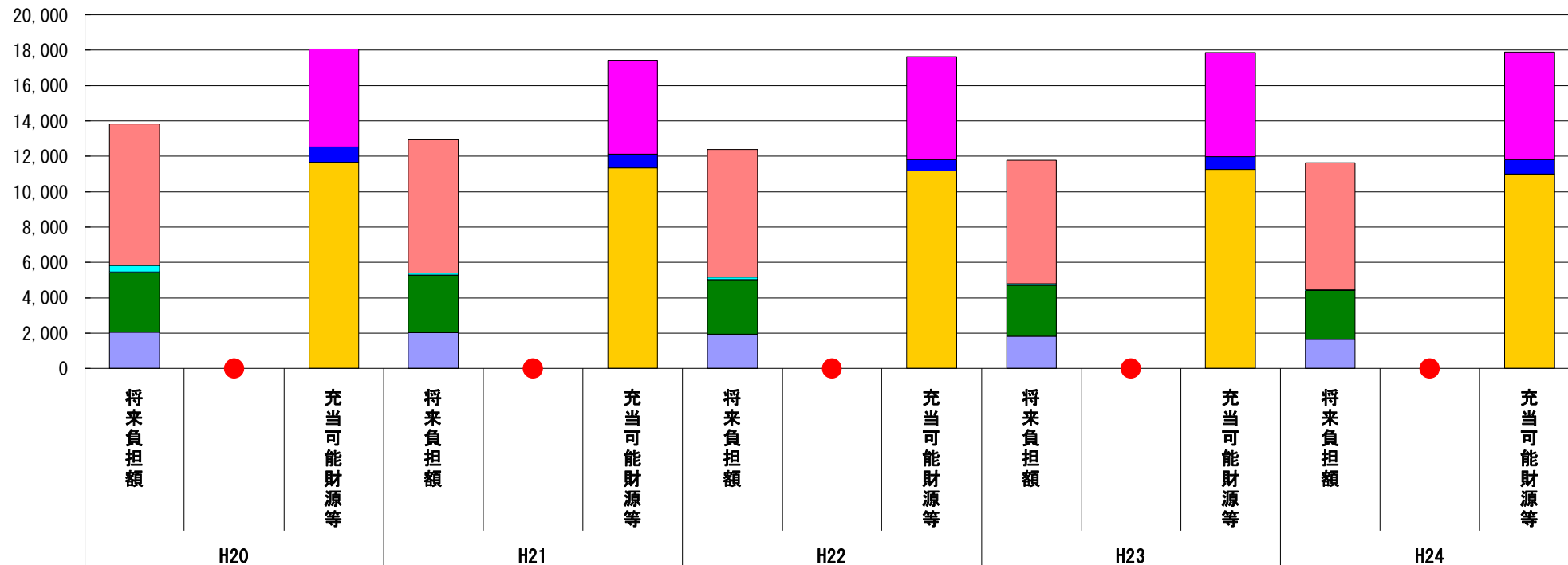


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

（百万円）

平成24年度

兵庫県猪名川町



（百万円）

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		7,990	7,524	7,219	6,994	7,171
	債務負担行為に基づく支出予定額		356	105	134	57	49
	公営企業債等繰入見込額		3,431	3,273	3,078	2,909	2,745
	組合等負担等見込額		2,039	2,017	1,945	1,811	1,649
	退職手当負担見込額		-	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		4	5	3	2	7
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,548	5,322	5,811	5,882	6,105
	充当可能特定歳入		858	769	642	728	810
	基準財政需要額算入見込額		11,666	11,349	11,179	11,250	10,987
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 4,253	▲ 4,516	▲ 5,253	▲ 6,089	▲ 6,281

分析欄

将来負担比率については、地方債残高や水道事業会計、下水道事業会計の公営企業会計への繰出見込額、国崎クリーンセンターや丹波少年自然の家施設事務組合の一部事務組合への負担見込額116億2,086万6千円に比べ、将来の負担に備えた基金残高や将来交付される交付税へ算入される見込額などが179億202万2千円と将来負担額を63億円程度上回っているため、将来負担比率は△111.1%となりました。

前年度の△106.8%と比較して4.3ポイント改善されました。地方債残高は経済対策に伴う投資的事業の拡充に伴い1億7,708万5千円増加しましたが、公営企業債等繰入見込額が1億6,429万6千円の減少など、将来負担額合計が前年度より1億5,131万7千円減少したことが主な要因です。

将来負担比率が△111.1%となっているものの、過去に建設した大型公共施設の改修など経費の増加が今後見込まれるため、各財政指標を注視し、財政の健全な運営に努めます。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。